



V. 幼保こ小連携





1. 柏市の幼保こ小連携

幼稚園・保育園・こども園と小学校が連携をとることで、園と学校との「段差」が軽減し、円滑な接続につながります。

柏市では、市内10地区の当番園・当番校からの委員により、幼保こ小連絡協議会を行っています。また、委員が推進役となり、地区別に幼保こ小連携活動を行っています。各地区では、地区別連絡会を開催し、幼保こ小の相互参観や協議会、引継ぎ会等を行い、相互理解を図るような取り組みが行われています。さらに、連携年間計画を作成し、各園と各校との交流会や教職員の連携活動など具体的な取り組みも進めています。

【柏市幼保こ小連携】

柏市幼保こ小当番校・園連絡協議会

- 各地区の当番校・当番園が委員となる
- 地区別連絡会の運営計画を立てる



幼保こ小地区別連絡会

- 当番校・当番園が地区ごとに主催
- 地区内の園と小学校が参加し、相互参観や協議会を行う

南部Ⅰ

南部Ⅱ

中部Ⅰ

中部Ⅱ

中部Ⅲ

北部Ⅰ

北部Ⅱ

北部Ⅲ

東部Ⅰ

東部Ⅱ

○地区別連絡会で立てた年間計画をもとに、小学校区の幼保こ小で連携活動を行う



2. 幼保こ小 連携活動例



各校・各園で行われている連携活動は、園児と児童が顔を合わせる交流会だけでなく、様々な形で行われるようになってきました。園や学校、地域の実態に応じた取組を年間計画に位置づけ、持続的・発展的に行っていくことが大切です。

オンライン交流会や
動画配信等もおすすめ

子ども同士の交流

交流会 ☆園児と1年生☆

- 秋とあそぼう（参照 44ページ 「わくわく あきの なかよしかい」）
- 1年生体験
- 学校たんけん、学校案内、学校クイズ、学校への質問
- 公園たんけん、季節の手紙やプレゼントの交換
- 休み時間交流…校庭で一緒に遊ぼう



交流会 ☆園児と2～6年生☆

- 町たんけんて園訪問（2年生）
- キャリア教育で園訪問（高学年）
- 学校紹介、学校案内（就学時健診 等）
- 休み時間交流…校庭で一緒に遊ぼう

1年生の教室を再現し
体験ブースを設置



交流会のお礼に、小学校の
持久走大会で応援する園児

場・機会の提供

様々な形で連携していく

- 小学校行事への案内～参加
（運動会、授業参観、夏休み作品展、音楽集会、学習発表会、持久走記録会 等）
- 校庭や体育館の提供（休み時間交流、園の散歩で立ち寄る、園の行事 等）
- 卒園生が園行事に参加

園児向けのレクリエーション
ブースを企画

教職員の連携

教職員が相互理解を深め、連携体制をつくる

- 地区別連絡会の参加
- 相互参観（当番校・当番園以外にも近隣校・近隣園で実施できると効果的）
- 学校だより・園だよりの配付
- スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの情報提供
- 入学説明会の資料提供
- 教職員の異校種体験
- 給食試食会、給食の資料提供
- 合同避難訓練、合同救命救急研修
- 年長の保護者会への小学校教職員の参加
- 教育研究所主催の幼児教育関係研修への小学校教員の参加
- 連携活動（授業・保育）の公開

3. 幼保こ小 交流会計画例

交流会計画

わくわく あきの なかよしかい

1. 時期 11月中旬～下旬

2. 対象 ・小学1年生 ・年長児

3. 幼保こ小連携における交流会の位置づけ

秋に行われる交流会は、1年生と年長児が一緒になって秋を感じ、楽しむことをねらいとしている。交流会を通して、年長児は小学生に憧れを持ったり親しみを持ったりするようになり、1年生は年長児に教えてあげたりお世話したりする喜びを感じ、お兄さんお姉さんに近づくことができる機会となる。

4. 活動のねらい

園のねらい	小学校のねらい（単元目標）
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生とのふれあいを楽しむ。 ・1年生と一緒に秋の自然を感じ、教わりながら遊んで、身近な自然がおもちゃに変化することがわかる。 ・交流会で自分たちは何ができるか考えることができる。 ・自分の思いを言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児と関わることのよさや楽しさに気付く。 【知識及び技能の基礎】 ・秋の自然物を使って工夫して作品を作ったり遊んだりするとともに、年長児の立場になって楽しく交流できる仕方を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等の基礎】 ・年長児と進んで触れ合い、交流しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

5. 活動計画

時期	園での活動計画	小学校での指導計画
10月	■お散歩	■公園探検
	同じ公園へ行って一緒にどんぐり拾い	
11月上旬	■招待を受け、交流会で自分たちは何ができるか考える。	■交流会の計画を立てる。 ■年長児に招待状を送る。
	職員同士の打合せ	
11月中旬	交流会「わくわく あきの なかよしかい」	
	■1年生へのお礼 ■教わったものを自分たちで作る。 →下の学年を招待する。	■振り返り →3学期の交流会に生かす。
	職員同士の振り返り	

★前年度の振り返りを基に計画する。
★幼児・児童の実態の共有
★ねらいの共有
★実態確認
・ペアやグループ編成
・歌やレクの内容
★職員の当日分担

★互いのねらいを達成できたか。（効果等）
★互いから見た幼児・児童の気付きの共有
★次回や次年度の計画に向けての見直し

6. 展開（本時 70分展開）

時間	幼稚園・保育園・こども園	主な活動の流れ	小学校
	■園児の活動 ○援助		■児童の活動 ◇支援
10分	○ペアの1年生と安心して関わられるよう声をかける。 ■ペアの名前を覚える	1. 1年生の教室でペアごとに顔合わせ （自己紹介も含む） ⇒一緒に体育館へ移動する。	◇年長児を温かく迎えるようにする。（号令の時の言葉などについて配慮する。） ■事前にペアの名前を覚え、自分から年長児に声をかけ、自己紹介をする。
20分	○園の先生が前に出て、会の一部を進行したり、小学校の先生と仲良くする姿を見せたりすることで、年長児の緊張を和らげるようにする。 	2. はじめの会（全体） ①ペアであいさつ ②みんなで歌を歌う 例：まっかな秋 どんぐりころころ にじのむこうに ③レク 例：猛獣狩りに行こうよ なべなべそこぬけ せっせっせ（手遊び）	◇会の進行を行う。 （園の先生と協力） ◇①はモデルを示す。 ◇レクをするときの約束を確認する。 ・お話をきちんと聞く。 ・安全に気を付ける。 ・レク中のグループは1年生と年長児が混ざる。
30分	■わからないことがあったら、自分で1年生に聞く。 ○一人一人が遊びを楽しんでいるか把握し、困り事があれば1年生に伝え、年長児には自分から聞くよう促す。	3. 秋の遊びを一緒に体験する （ペア活動、屋台方式 等） ・秋のおもちゃで一緒に遊ぶ ・一緒に作る 例：どんぐりごま まつぼっくりけん玉 ネックレス ・年長児が作品をお土産に持ち帰る。	■手本を見せながら説明する。 （ICTの活用等） ■作り方を教えて一緒に作る。 ◇一人一人が遊びを楽しんでいるか把握し、子ども同士で助け合えるよう1年生に促す。 
10分	○思いを声に出せるように、そばに寄り添う。 ■自分たちで考えたお礼を披露する。	4. 終わりの会（全体） ①感想をインタビュー（ペア⇒全体） ②年長児からのお礼 ③ペアであいさつ	■1年生がまず自分の感想を伝え、その後に年長児にインタビューする。

【 作成協力委員 】 ※就任年度の所属

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
顧問	角田 元良	千代田区立教育研究所	角田 元良	千代田区立教育研究所	篠原 孝子	聖徳大学大学院教職研究科	篠原 孝子	聖徳大学大学院教職研究科
委員長	池田真理子	松葉第二小学校	池田真理子	松葉第二小学校	森田 賢司	松葉第二小学校	笹間ひろみ	名戸ヶ谷小学校
小学校	浅川 恵	柏第二小学校	浅川 恵	柏第二小学校	浅川 恵	柏第二小学校	村田 悦子	西原小学校
	人見 朋美	高柳小学校	島田 朋美	高柳小学校	島田 朋美	藤心小学校	中村 智子	柏第八小学校
	角田真紀子	藤心小学校	高野 美優	松葉第二小学校	工藤 啓右	大津ヶ丘第二小学校	工藤 啓右	大津ヶ丘第二小学校
幼稚園	吉田 眞	柏幼稚園	吉田 眞	柏幼稚園	吉田 眞	柏幼稚園	岡田 喜	麗澤幼稚園
	中矢 静子	ホザナ幼稚園	中矢 静子	ホザナ幼稚園	岡田 喜	麗澤幼稚園	岩崎 広敏	くりの木幼稚園
	尾組久美子	南柏幼稚園	尾組久美子	南柏幼稚園	岩崎 広敏	くりの木幼稚園		
保育園	秦野 洋子	豊住保育園	安藤 君美	豊住保育園	安藤 君美	豊住保育園	安藤 君美	豊住保育園
	平川ちさと	豊住保育園	平川ちさと	豊住保育園	郡司納菜恵	豊住保育園	郡司納菜恵	豊住保育園
	中村 孝子	富士見保育園	中村 孝子	富士見保育園	森田千鶴子	富士見保育園	森田千鶴子	富士見保育園
	渡邊 光子	富士見保育園	渡邊 光子	富士見保育園	渡邊 光子	富士見保育園	渡邊 光子	富士見保育園
	山崎 由利	東町保育園	山崎 由利	東町保育園	本田 直子	東町保育園	稲毛 明子	東町保育園
	三門 明子	東町保育園	三門 明子	東町保育園	渡部 文子	東町保育園	藤本明日香	東町保育園
	佐藤 理香	教育研究所	杉本 秀彰	教育研究所	逆井 俊彦	教育研究所	金岡 幸江	教育研究所
	金岡 幸江	教育研究所	金岡 幸江	教育研究所	金岡 幸江	教育研究所	美留町紀子	教育研究所

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2～6年度
顧問	古川 寿子	聖徳大学大学院教職研究科	古川 寿子	聖徳大学大学院教職研究科	古川 寿子	聖徳大学大学院教職研究科	※教育研究所にて 一部改訂
委員長	笹間ひろみ	名戸ヶ谷小学校	笹間ひろみ	名戸ヶ谷小学校	並木 孝樹	光ヶ丘小学校	
小学校	白田 敦子	西原小学校	白田 敦子	西原小学校	美留町紀子	旭東小学校	
	中村 智子	柏第八小学校	中村 智子	柏第八小学校	中村 智子	柏第八小学校	
	浅川 恵	柏第六小学校	浅川 恵	柏第六小学校	千葉 浩子	旭小学校	
幼稚園	廣松 雪子	にしはら幼稚園	廣松 雪子	にしはら幼稚園	尾組久美子	南柏幼稚園	
	新谷 明美	柏幼稚園	新谷 明美	柏幼稚園	水上 慶子	とみせ幼稚園	
	伊藤 祐美	高柳台幼稚園	伊藤 祐美	高柳台幼稚園			
保育園	安藤 君美	豊住保育園	隈川 早苗	あけぼの保育園	加藤裕美子	旭町保育園	
	伊藤 綾子	豊住保育園	高谷 望美	あけぼの保育園	林 恵子	柏みどりこども園	
	隈川 早苗	あけぼの保育園	藤井 博子	増尾保育園			
	吉田 絢子	あけぼの保育園	鎌田 花菜	増尾保育園			
	稲毛 明子	東町保育園	加藤裕美子	旭町保育園			
	谷出 幸世	東町保育園	中村 祥平	旭町保育園			
	富高 誠司	教育研究所	宮内 竜男	教育研究所	遠藤須美子	教育研究所	
	美留町紀子	教育研究所	松山 美香	教育研究所	松山 美香	教育研究所	

【参考文献】

- ・文部科学省 2022 幼保小の架け橋カリキュラムの実施に向けての手引き（初版）
- ・横浜市立恩田小学校 スタートカリキュラム ・札幌市立新光小学校 新光小スタートカリキュラム
- ・文部科学省 2018 小学校学習指導要領解説 日本文教出版
- ・厚生労働省 2018 保育所所行指針解説 フレーベル館 ・文部科学省 2018 幼稚園教育要領解説 フレーベル館
- ・内閣府・文部科学省・厚生労働省 2018 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーベル館
- ・文部科学省 2010 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について報告
- ・横浜市こども青少年局・横浜市教育委員会 2012 「～横浜版 接続期カリキュラム～ 育ちと学びをつなぐ」
- ・横浜市こども青少年局・横浜市教育委員会 2015 「～横浜版 接続期カリキュラム～ 子どもってすごい！」
- ・福井県幼児教育支援センター 学びをつなぐ希望のボタンカリキュラム 一学びに向かう力をはぐくむ
- ・千葉市教育センター 楽しい小学校生活を始めるための 小1スタートカリキュラム
- ・小学館 2012 クラスが元気になる！1年生担任の学級づくり教育技術
- ・草加市教育委員会 2015 草加市 幼保小接続期モデルプログラム ～心豊かに充実した小学校生活に向けて～
- ・高知市教育委員会 2016 アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム事例集
- ・聖徳大学 2017 幼児期に育みたい資質・能力を保幼小連携の視点から考える
- ・小林宏己 編著 2009 小1プロブレムを克服する！幼小連携活動プラン 一考え方と実践アイデア

